

令和 7 年度

第 1 回海陽町地域公共交通活性化協議会

次第

日 時 令和 7 年 8 月 2 9 日 (金)

午前 1 0 時 3 0 分～

場 所 海陽町役場 海南庁舎

2 階 No. 3 会議室

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 委員紹介
4. 議案

■報告事項

- (1) 令和 6 年度事業報告について【資料 1】【参考資料 1】【参考資料 2】
- (2) 令和 6 年度収支決算報告について【資料 2】【資料 2-1】

■協議事項

- (1) 令和 7 年度事業計画(案)および収支予算(案)について【資料 3】【資料 4】
- (2) 令和 7 年度町営バスの新交通への変革に向けた公共ライドシェア実証運行および交通形態の検討業務について【別添 1】

5. その他
6. 閉 会

【配布資料】

- 会議次第
- 海陽町地域公共交通活性化協議会 委員名簿
- 【資料 1】令和 6 年度海陽町地域公共交通活性化協議会事業報告
- 【参考資料 1】海陽町地域公共交通計画の送付について
- 【参考資料 2】海陽町地域公共交通計画の概要
- 【資料 2】令和 6 年度海陽町地域公共交通活性化協議会収支決算書
- 【資料 2-1】令和 6 年度会計監査報告書
- 【資料 3】令和 7 年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
- 【資料 4】令和 7 年度海陽町地域公共交通活性化協議会スケジュール(案)
- 【別紙 1】町営バスの新交通への変革に向けた公共ライドシェア及び交通形態の検討業務 本年度実施概要

海陽町地域公共交通活性化協議会委員名簿

令和7年8月29日現在

国のモデル要綱	協議会規約第4条	氏名	所属及び役職等
1 市町村長又はその指名する者	1 徳島県海陽町の職員	横 考志 (会長)	海陽町副町長
2 一般乗合旅客自動車運送事業者	2 関係する公共交通事業者の職員	荒井 隆	四国旅客鉄道株式会社 徳島企画部部长
		長井 信吾 (監事)	徳島バス南部株式会社 取締役社長
		大谷 尚義	阿佐海岸鉄道株式会社 代表取締役専務
3 一般貸切(乗用)旅客自動車運送事業者		西山 達也	海南観光タクシー有限公司 代表取締役
4 社団法人		重本 錦二	一般社団法人徳島県バス協会 専務理事
5 住民又は利用者の代表	3 自治会その他町民団体の代表者	山田 尚央	伊勢田地区民生児童委員
		佐川 済昭	大内・村山地区民生児童委員
		藤塚 文弥	平井地区民生児童委員
		櫛田 恵子	中山・櫛川地区民生児童委員
		田中 光枝	船津・久尾地区民生児童委員
		辻 芳昭 (副会長)	川東地区公民館長
		谷本 憲作	川上地区公民館長
		大東 正人	浅川地区公民館長
		乃一 俊治	海部地区公民館長
		由木 和幾	穴喰地区公民館長
6 運輸局長(運輸支局長)又はその指名する者	4 国土交通省四国運輸局徳島運輸支局の職員	廣瀬 涉	四国運輸局徳島運輸支局 総務・企画観光担当 首席運輸企画専門官
		齊藤 信一郎	四国運輸局徳島運輸支局 輸送・監査部門担当 首席運輸企画専門官
7 一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転手が組織する団体	5 一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転手が組織する団体	なし	
8 道路管理者	6 道路管理者	西森 敬洋	国土交通省四国地方整備局 日和佐国道出張所所長
		挾谷 芳宏	徳島県南部総合県民局県土整備部 予防保全・管理担当課長
9 都道府県警察	7 都道府県警察署の職員	元木 禎	牟岐警察署地域交通課長
10 学識経験者その他の交通会議が必要と認める者	8 学識経験者その他協議会の運営上必要と認められる者	北條 美也子 (監事)	徳島県南部総合県民局 地域創生防災部次長
11 都道府県	9 国又は県の関係行政機関の職員	山田 知成	徳島県生活環境部交通政策課係長

令和6年度海陽町地域公共交通活性化協議会事業報告について

(1) 協議会開催状況

開催日	回数	協議事項
令和7年1月14日	第1回幹事会	(1) 海陽町地域公共交通活性化協議会 幹事会設置について(案) (2) 海陽町地域公共交通活性化協議会 規約(案)の制定について (3) 海陽町地域公共交通活性化協議会 財務規程(案)の制定について (4) 海陽町地域公共交通活性化協議会 事務局規程(案)の制定について (5) 海陽町地域公共交通計画策定等の進め方(案)について
令和7年1月24日	第1回活性化協議会	(1) 海陽町地域公共交通活性化協議会 規約(案)について (2) 会長の互選について (3) 副会長及び監事の指名について (4) 海陽町地域公共交通活性化協議会 財務規程(案)について (5) 海陽町地域公共交通活性化協議会 事務局規程(案)について (6) 海陽町地域公共交通活性化協議会 幹事会設置(案)について (7) 令和6年度事業計画(案)及び予算(案)について
令和7年2月7日	第2回幹事会	(1) 海陽町地域公共交通計画の素案について
令和7年2月28日	第2回活性化協議会 (書面開催)	(1) 海陽町地域公共交通計画の素案について
令和7年3月18日	第3回幹事会	(1) 海陽町地域公共交通計画の素案について (2) 令和7年度海陽町地域公共交通活性化協議会事業計画(案)及び予算(案)
令和7年3月24日	第3回活性化協議会	(1) 第2回海陽町地域公共交通活性化協議会における書面審議の結果について (2) 令和6年度海陽町地域公共交通活性化協議会収支決算報告(見込み)について (3) 海陽町地域公共交通計画(最終案)について (4) 令和7年度海陽町地域公共交通活性化協議会事業計画(案)及び予算(案)について

(2) 海陽町地域公共交通計画(案)に対するパブリックコメント実施

令和7年3月25日(火)から令和7年3月31日(月)までの7日間、海陽町ホームページ、海陽町役場窓口(海南庁舎:住民環境課/海部庁舎:子どもあゆみ保健課/穴喰庁舎:観光交流課)により実施。

意見提出数 0件

(3) 海陽町地域公共交通計画

令和7年3月31日(月) 策定

令和7年4月14日(月) 国土交通大臣および総務大臣宛に送付

海環住第6号
令和7年4月14日

国土交通大臣 殿

海陽町長 三浦 茂貴

海陽町地域公共交通計画の送付について

地域公共交通の活性化及び再生に関する法律第5条第11項に基づき、海陽町地域公共交通計画を送付いたします。

問い合わせ先

(住所) 徳島県海部郡海陽町大里字上中須 128 番地

(担当部署) 住民環境課

(担当者) 主事 堀川 真奈央

(電話番号) 0884-73-4152

(FAX番号) 0884-73-3097

(メールアドレス) juminkankyo@town.kaiyo.lg.jp

海陽町地域公共交通計画の概要

1. 経緯

令和7年3月31日作成

令和7年4月1日公表

2. 海陽町地域公共交通計画の区域

海陽町全域

3. 海陽町地域公共交通計画に関する基本方針

現在の交通課題である「交通空白」解消や町営バスの効率化・利便性向上を目指し、最適化された多様な移動手段が連携し、利便性向上と利用促進の好循環が生みだす、持続可能な公共交通ネットワークの実現を目標としています。また、住民や旅行者の移動ニーズに合わせて、複数の移動サービスから自由に選択できる、マルチモーダルな公共交通を目指します。

4. 海陽町地域公共交通計画の目標

①海陽町ならではの交通手段の最適化

- ・既存路線の最適化として、町営バスの見直しと公共ライドシェアの検討
- ・新たな運行形態の導入として、日本版ライドシェアや自動運転公共交通の検討

②町民の生活に根差した公共交通の利便性の追求

- ・住民目線の利用促進として、現在取り組んでいる高齢者外出応援事業の活用推進
- ・つながる仕組みの導入として、マルチモーダルな公共交通の検討

③持続可能な公共交通維持の推進

- ・新しい需要の創出として、貨客混載の推進の検討
- ・地域の交通への意識向上として、住民説明会の実施

まずは、既存の町営バスを中心に、交通空白の解消や自宅近くで乗降できる仕組みなどによる利便性の向上に向け、定時定路線型運行を見直し区域運行型やデマンド型を検討していきます。

5. 事業の概要及び事業の実施主体

・ 町営バス（平井線・相川線・浅川巡回線・海部線）における定時定路線型運行（実施主体：海陽町）

町営バス久尾線については、令和7年2月3日より区域運行型予約制バスとして実証実験開始。

- ・ 路線バス（実施主体：徳島バス南部株式会社）
- ・ 高速バス（実施主体：徳島バス株式会社）
- ・ JR 牟岐線（実施主体：四国旅客鉄道株式会社）
- ・ DMV（実施主体：阿佐海岸鉄道株式会社）
- ・ タクシー（実施主体：有限会社及び個人事業者）
- ・ 介護タクシー（実施主体：個人事業者）
- ・ シェアサイクル（実施主体：海陽町観光協会）
- ・ スクールバス（実施主体：海陽町教育委員会）

6. 地域公共交通計画の達成状況の評価に関する事項

● 計画の進捗状況の確認：設定した目標値に対する達成度を定期的に計測します。

● 課題の明確化：目標未達成の場合、その要因を分析し、改善策を検討します。要因は、内部要因（計画自体の問題）と外部要因（社会情勢の変化など）に分けて考えることが重要です。

● 計画の見直し：評価結果を踏まえ、必要に応じて計画内容や目標値、事業内容を見直します。

評価の際には、数値指標を用いることが重要です。

● 利用者数、収支状況、公的負担額などが標準指標として設定されます。

7. 計画期間

令和7年度～令和11年度

8. 法第6条に定める協議会の有無

(令和7年1月24日設立、名称：海陽町地域公共交通活性化協議会、構成員：計画内に記載)

無

9. 法第5条第10項に定められている関係者との協議

令和7年1月24日設立協議会、名称：海陽町地域公共交通活性化協議会

令和7年2月28日第2回海陽町地域公共交通活性化協議会

令和7年3月24日第3回海陽町地域公共交通活性化協議会

10. 法第5条第7項に定められている利用者の意見の反映

①海陽町地域公共交通活性化協議会に以下の団体からメンバーが参画し、3回にわたって協議会で議論を行った。

- ・各地区民生児童委員
- ・各地区公民館長

②海陽町地域公共交通活性化協議会に参加していない以下の主要な各地区公民館や老人会の集まりに参加しヒアリングを実施。

- ・いきいきサロン
- ・ときわ会 など

③パブリックコメントを令和7年3月25日から令和7年3月31日まで実施。意見は0件であった。

④海陽町公共交通住民アンケートを令和6年7月9日から7月31日の23日間行った。

対象地区：海陽町全域

対象者：18歳以上の町民3,500名を無作為に抽出

回答者数：1,664通

回収率：47.6%

11. その他

- ・法第7条による提案の有無：無

令和6年度海陽町地域公共交通活性化協議会 収支決算書

収入の部

(単位:円)

科 目	本年度予算額	本年度精算額	対比増減	備 考
町補助金	334,000	199,516	△ 134,484	海陽町地域公共交通活性化協議会補助金
収入合計	334,000	199,516	△ 134,484	

支出の部

(単位:円)

科 目	本年度予算額	本年度精算額	対比増減	備 考
報酬費	240,000	144,000	△ 96,000	69795円 第1回協議会(1/24) 9名 8,000円-245円(源泉所得税)×9名=69,795円 69795円 第3回協議会(3/24) 9名 8,000円-245円(源泉所得税)×9名=69,795円 4410円 源泉所得税 (8,000円×3.063%=245円) 245円×18名=4,410円
旅 費	32,000	12,970	△ 19,030	
需用費	20,000	19,426	△ 574	17,710円 公印代 1,716円 金銭出納帳代
役務費	42,000	23,120	△ 18,880	6,930円 振込手数料 16,190円 郵送料
支出合計	334,000	199,516	△ 134,484	

収入決算額 199,516円

支出決算額 199,516円

収入支出差引額 0円

令和6年度海陽町地域公共交通活性化協議会の収入支出決算額については、上記のとおりです。

令和7年4月30日

海陽町地域公共交通活性化協議会


会長 横 考志


令和 7 年 4 月 30 日

海陽町地域公共交通活性化協議会

会長 横 考志

海陽町地域公共交通活性化協議会

監事 北條 美也子 

監事 長井 信吾 

令和 6 年度会計監査報告書

海陽町地域公共交通活性化協議会規約第 6 条第 6 項の規定により、海陽町地域公共交通活性化協議会の令和 6 年度分会計監査を行いましたので以下のとおり報告いたします。

記

1. 監査日

令和 7 年 4 月 30 日 (水)

2. 監査内容

令和 6 年度の海陽町地域公共交通活性化協議会の収入及び支出について事務局立会いのもと、収入及び支出に伴う書類の監査を実施いたしました。

3. 監査結果

預金通帳の収入及び支出及びそれに伴う関係書類については、適正かつ正確に処理されていることを認めます。

以上

令和7年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

① 令和7年度事業計画（案）

内 容	年 月 日	場 所
第1回活性化協議会開催 (令和6年度事業及び決算報告、令和7年度 事業計画、今後のスケジュールについて)	令和7年8月29日	海南庁舎2階 No.3 会議室
第2回活性化協議会開催 (今後の公共交通のあり方について)	令和7年11月頃	未定
第3回活性化協議会開催 (令和7年度交通計画改訂(案)、令和8年度事 業計画(案)及び予算(案)について)	令和8年3月頃	未定

② 令和7年度収支予算（案）

収入の部

(単位：円)

款	項	目	本年度予算額	前年度予算額	前年度比較	備考
補助金	補助金	町補助金	345,000	334,000	11,000	海陽町地域公共交通活性化協議会補助金
収入合計			345,000	334,000	11,000	

支出の部

(単位：円)

款	項	目	節	本年度予算額	前年度予算額	前年度比較	備考
運営費	事務費	事務費	報酬費	288,000	240,000	48,000	報酬8,000円×12名×3回
			旅費	15,000	32,000	▲17,000	旅費
			需用費	13,000	20,000	▲7,000	消耗品代
			役務費	29,000	42,000	▲13,000	振込手数料 郵送料
支出合計				345,000	334,000	11,000	

令和7年度海陽町地域公共交通活性化協議会スケジュール（案）

【全体スケジュール】

年度	令和7年度											
実施予定月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
幹事会					①			③				⑤
海陽町地域公共交通活性化協議会					②			④				⑥

【海陽町地域公共交通活性化協議会】

年度	協議会	主な内容	日程	開催場所
令和7年度	第1回	① 幹事会（令和6年度海陽町地域公共交通活性化協議会事業報告及び決算について 令和7年度事業計画、今後のスケジュールについて）	2025年8月25日	書面
	第1回	② 第1回協議会開催（令和6年度海陽町地域公共交通活性化協議会事業報告及び決算について 令和7年度事業計画、今後のスケジュールについて）	2025年8月29日	海南庁舎2階 No.3会議室
	第2回	③ 幹事会（今後の公共交通のあり方について）	2025年11月	未定
	第2回	④ 第2回協議会開催（今後の公共交通のあり方についてについて）	2025年11月	未定
	第3回	⑤ 幹事会（令和7年度海陽町地域公共交通計画改訂案について 令和8年度事業計画（案）及び予算（案）について）	2026年3月	未定
	第3回	⑥ 第3回協議会開催（令和7年度海陽町地域公共交通計画改訂案について 令和8年度事業計画（案）及び予算（案）について）	2026年3月	未定
			町長への報告	2026年3月

※協議内容については現時点での予定です

町営バスの新交通への変革に向けた
公共ライドシェア実証運行及び
交通形態の検討業務

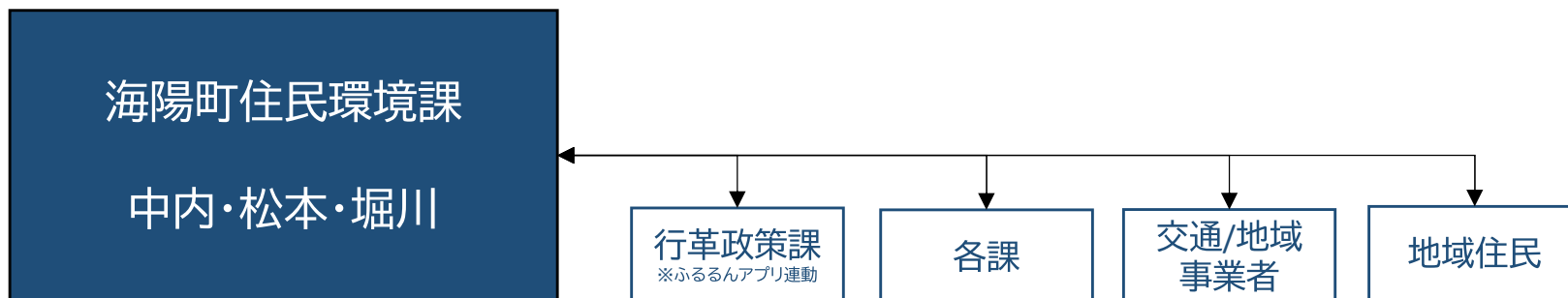
本年度実施概要

事業期間: R7年8月～R8年2月末

事業費: 32,410,400円

公共ライドシェア車両購入事業費: 2,199,000円

事業名	目的	実施概要
地域公共交通 検討調査業務	各交通形態の役割、交通事業者を対象としたヒアリング(運転者の人員数や車両数等)の状況をもとに、持続可能な公共交通のサービス水準(カバー率、運行回数、乗継時間、運賃等)について、「海陽町地域公共交通計画」にある各公共交通サービスの役割に応じた交通形態ごとに最低限求められる水準及び理想的な水準等の設定について地域ごとの特性を踏まえて検討する。	<ul style="list-style-type: none"> ①既存各種データの洗い出し ②調査業務 <ul style="list-style-type: none"> ・主要施設利用者インタビュー ・タクシー移動実態調査 ・事業者インタビュー ・バスOD調査 ・住民ワークショップ ③公共交通等のサービス水準検討 ④行政負担額の調査・分析 ⑤クロスセクター効果分析 ⑥日本版ライドシェア検討(民間主導) ⑦新交通形態素案作成
穴喰地区における デマンド交通システム 導入業務	町内全域における新交通形態にも対応できるフルデマンド型の予約・配車システムの導入を行い、運用を開始する。	<ul style="list-style-type: none"> ①公共ライドシェア車両の購入 ②予約システムの導入 ③車両設置ドライバーアプリの導入 ④車両管理システムの導入 ⑤各種データ管理システムの導入 ⑤ふるるんアプリとの連動 ⑥ドアtoドア型の公共ライドシェアの運用実施 ⑦各種住民・関係者説明会の実施 ⑧問い合わせコールセンターの実証実験 ※マイナカード空き領域活用も検討



本事業チーム

＜本事業受託事業者＞
イツモスマイルデジタルソリューションズ株式会社
 全体進行/開発/各種調査/計画策定

コ ア メ ン バ ー	＜デマンド交通システム導入業務支援＞ 株式会社WillSmart 車両管理システム提供 デマンド交通ノウハウ提供	＜地域公共交通検討/調査業務支援＞ キヤノンビズアテンダ株式会社 各種実証/分析サポート コールセンター業務
	株式会社トッパンエッジ マイナンバーカードシステム提供	京セラ株式会社 車両端末サポート
サ ポ ー ト 事 業 者	株式会社日本旅行 観光目線ライドシェアナレッジ提供	エクトラ株式会社 TuningDrive(台湾) 自動運転システムナレッジ提供

本事業拠点: サテライトオフィス城山荘

海陽町日本版ライドシェア 検討民間部会

イツモスマイルデジタルソリューションズ株式会社
含む本事業再委託先

海南観光タクシー有限公司 西山社長
阿佐海岸鉄道株式会社 大谷専務
海陽町観光協会 片山様

他候補
四国旅客鉄道株式会社、徳島バス南部株式会社 等

検討支援
海陽町・徳島県交通政策課・運輸局徳島支部

部会立ち上げに向けて受託事業者にて調整中

NO	カテゴリ	内容	2025年					2026年		
			8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
1	全体関連	契約締結/キックオフ								
2		実施計画書/全体報告書	計画						報告	
3	地域公共交通検討 調査業務	現状分析・課題等の分析								
4		サービス水準検討								
5		行政負担額の抽出								
6		クロスセクター効果分析								
7		新たな交通形態整理/素案								
8		穴喰地区における デマンド交通システム導入業務	システム全体設計・運行計画策定							
9			車両購入/納品(貴町)							
10	車両備品購入/タブレット手配									
11	IoTゲートウェイ車両設置									
12	マイナンバーカード認証許認可									
13	条例改正(海陽町様)※要確認									
14	デザイン/UI/各モックアップ作成									
15	システム開発 ・ふるるんアプリ機能拡張 ・ドライバーアプリ開発 ・管理機能・バックエンド構築									
16	穴喰地区住民説明会・登録会									
17	関係者操作説明会									
18	各種広報									
19	デモ版テスト実証運行									
20	実証運行(本番システム)									
21	コールセンター									